

2022. 6. 3

令和4年笛吹市議会第2回定例会の告示に伴う  
記者会見質疑応答（要約）

■記者

動物愛護管理対策事業について、もう少し詳しく内容を教えてください。

■財政課長

本年度、県で猫の不妊去勢手術についての補助が創設されました。今回は、猫の不妊手術で上限を1万5000円、去勢手術については1万円までを補助するものであり、それにより申請件数の増加が見込まれます。笛吹市においては、年間で猫の不妊手術については約794件、去勢手術については397件を見込み、それに伴い、1250万円を追加補正するものです。

■記者

子どもすこやか医療費助成で、令和5年1月の予定を前倒しして、11月からする理由を教えてください。

■市長

市民のために早期に助成できるよう職員が努力した結果です。

■記者

予算外ですが、多目的芝生グラウンドの今後のスケジュール、市民説明会や答申の時期などの今後の見通しを伺います。

■政策課長

市民との意見交換会を6月28日と7月6日、12日に予定しています。市民の皆様からの意見を伺いながら基本計画を策定していきます。日程については、まだ未定ですが、8月から9月くらいに基本計画の答申をいただきたいと考え、進めています。

■記者

答申を受けて具体的に動き出す時期はいつぐらいですか。

■市長

できるだけ速やかに手続きを踏みながら動きたいと考えています。

■記者

御坂中学校の仮校舎については、どのようになっていますか。

■市長

土地をどのように使ったら安価に、またスムーズにできるのか、プロポーザルを行いたいと担当課より提案がありましたので、プロポーザルを実施します。

■記者

計画までがプロポーザルで、工事は地元業者に発注するということですか。

■市長

そうです。

■記者

芦川のグリーンロッジについて、旧館を取り壊して、新館を改修して使うと聞きましたが、内容は固まっていますか。

■市長

方向性は決まっています。

■記者

当初予算に設計費が計上されていたと思いますが、実際工事は来年度という見通しですか。

■市長

そうです。

■記者

人件費で、学校給食調理員の処遇改善は、国の措置か、それとも市の独自のものを教えてください。

■財政課長

こちらについては、市独自の処遇改善措置であります。

■記者

この措置を取られた理由と、どれぐらいの待遇改善になるのか数字を教えてください。

■財政課長

こちらについては、学校給食調理員の会計年度任用職員部分についての人件費を846万9000円追加補正しています。

■総合政策部長

3月補正で国の補正事業の対象になったので、2月、3月分を3月の追加補正で実施しました。保育職については、4月1日、専決で1年間分を計上しました。今回は、市の単独部分として学校調理員についても同じ処遇になるので、6月補正で計上したところです。

■記者

一宮分団の詰所の関係で、公民館の建設決定とありますが、どこの公民館になりますか。

■市長

中尾です。

■記者

いつ頃、建設をはじめますか。

■総務課長

一宮町中尾区のコミュニティセンターとして、この度、自治総合センターの許可が出たので、今回の補正に計上しています。

工事期間については、すでに設計から着工に入っており、来年2月末までの完成を目指しています。

■記者

公民館建設に合わせて一緒に詰所も建設するということですか。

■総務部長

公民館と詰所が一体です。

老朽化しているので、全部取り壊して、同一敷地内に新築します。

■記者

詰所は来年度建設されるということですか。

■総務部長

今年度設計、来年度建設です。

■記者

御坂福祉センターを社会教育施設に転用する予定ということですが、説明をお願いします。

■市長

なぜそれをするかという、御坂福祉センターの横にある農村環境改善センターという集会施設が老朽化で、使用を続けていくことが困難となっていますが、建て直すことは難しい。うまくその機能をどこかに移転することができないか検討した結果、農村環境改善センターは取り壊して、御坂福祉センターの2階にその機能を移転させるということになりました。

条例改正をして所管を移した中で、設計がこれから始まります。

■記者

債務負担に学校トイレの洋式化のリース費用がありますが、令和4年度からとなっていますが、今年もリースで入ってくるということですか。

■財政課長

令和4年度については、プロポーザル方式による業者の選定を行います。

■総合政策部長

12月に契約して、工事に入ります。

■記者

御坂学童保育クラブ事業に関連して、増額の経緯をもう少し詳しく教えてください。

■総合政策部長

御坂学童保育クラブについては、支援員の関りが重要な子どもが増えているということで、支援員を1人増員するための補正となります。

以上